

令和7年度環境活動報告

部局名: 医学系研究科・医学部

<p>教 育</p>	<p>【医学科】 医学科では、「初年次セミナー(1年次)」において環境を主題とした講義を継続して実施し、学生が健康と環境の関連について基礎から理解を深められるよう取り組んだ。また、「地域・産業保健コース(4年次)」では、健康と環境について幅広く、より深い知識・理解が身につくよう教育、指導を行った。</p> <p>【看護学科】 看護学科においても、1年次の初年次セミナーで環境に関する講義を実施し、環境保全に対する意識向上を図った。また、保健師課程「産業保健(3年生)」等の講義では、職業に従事する人、児童生徒、一般住民における健康と環境について幅広く、より深い知識・理解が身につくよう教育・指導を行った。</p>
<p>研 究</p>	<p>【医学科】 医学科では、先行研究で構築した「妊娠期から育児期まで継続して地域で取り組む禁煙サポートプログラム」を基盤とし、特に近年使用が増加している加熱式たばこに焦点を当て、その影響評価と支援手法の改良に向けた研究を進めた。加えて、妊娠期の女性およびそのパートナーを対象とした新たな禁煙支援の実践方法について検討を行い、地域に還元できる支援モデルの構築を試みた。</p> <p>【看護学科】 若年層の喫煙・飲酒・薬物使用のプライマリ予防に向けて、18～22歳を対象とした広域調査を今年度も継続して実施した。調査では、使用経験、生活習慣、心理社会的背景などの要因を収集し、若者のリスク行動の実態把握と予防施策の検討に資する基礎資料を得た。</p>
<p>社 会 連 携</p>	<p>本年も法医学分野の教員1名が岐阜県の公害審査会委員に委嘱され、医学的知見をもとに審議へ貢献し、地域における環境保全や健康影響対策の改善に寄与した。</p>
<p>キ ャ ン パ ス プ ラ ン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001に関して、研修の実施や環境方針カード・ポスターの配布等を通じて、構成員に対する啓発活動を継続した。 ・毎週1回行う職場巡視では、環境改善につながる指導を行い、薬品管理や安全衛生面での適正な運用が保たれるよう助言した。 ・ごみ分別の徹底およびリサイクルを意識した廃棄物処理を継続し、適正な廃棄物管理に努めた。 ・毎年2回実施される「クリーンキャンパス」への積極的な参加を促し、環境美化と学内の意識向上を図った。 ・空調設備の集中管理、施設使用時間の調整等により電力消費削減の取り組みを継続した。 ・教育訓練再確認シートの回収時には、省エネ・環境配慮に関する構成員からの意見・提案を募り、改善に活かした。